

運 営 基 本 方 針

京都府小学生バレーボール連盟は、『ど真ん中に子どもがいる日本小学生バレーボール連盟』のスローガンの基、バレーボールを通じて人間力を育てる役割を担っていくことを大切にしていきます。そして、子どもたちに夢と希望をもたせ、努力することの大切さ、協力することの素晴らしさ、そして最後までがんばりぬくことの尊さを教え、心豊かでたくましい子どもを育てる」ことを大切にしたいと考えます。

○子どもを支えることが、大人（指導者、保護者、役員）の役割です。

- (1) 子どもたちが基礎・基本の技術等をバランスよく習得できる指導者の育成を目指します。
- (2) Thank You VBC の理念を大切に、競技力の向上だけでなく、子どもたちが幅広く豊かな人間力を身に付けられる「理想の指導者像」を共有していきます。バレーボール競技の特性である「つなぐ」の精神を心身両面で子どもたちに伝えていくことを大切にしていきます。
- (3) 役員は自らの役割を自覚し、競技運営力を高め、どきどきわくわくするバレーボールの姿の実現を目指します。

○新たにバレーボールを始める子どもを増やすことや競技人口を減少させないことに尽力を注ぎます。

- (1) 「体罰・暴力（暴言を含む）・セクハラ」の撲滅に向け、日本バレーボール協会の方針に協力し、コンプライアンスの徹底を図ります。
- (2) バレーボールの果たす役割を子どもの成長過程に応じて常に考えながら、発達段階に応じた指導を進めていきます。
- (3) 低年齢層への普及に加え、障害のある子どもたちへもバレーボールの素晴らしさを伝えていきます。「U-10 交流大会」の開催に向けて、準備を進めていきます。

○「運営のスリム化」に向けて

- (1) 経費節減に向けて、MR Sシステムや連盟ホームページを活用しての情報発信に努めていきます。さらに業務内容の見直しに継続して取り組み、更なる経費削減に向けての工夫を重ねていきます。
- (2) 大会参加チーム数に応じて、大会運営のスリム化を図り、経費削減に努めていきます。

○「資質向上と新しい人材の育成」を目指します

- (1) 各主催大会においては、各チーム指導者による相互審判（帯同審判）制を止む無く進めている状況の中、指導者資格の有効活用を目指し、各指導者並びにチームの指導力・審判技術の向上を目指します。
- (2) 今年度より新しくなる日体協指導者資格制度を活用し、指導者資格を有する指導者の増員を目指し、バレーボールの魅力（つなぐ力）を子どもたちに伝えていきます。
- (3) 日本小学生バレーボール連盟・近畿小学生バレーボール連盟との連携を進め、小学生バレーの発展に向け、多くの繋がりを大切にしていきます。

※倫理委員会より

体罰は許されません。

『子どもたちが笑顔でバレーボールに取り組む環境を作りましょう！』

何か相談事がありましたら、倫理委員会委員長・吉岡まで。

<連絡先 Tel: 090-5244-0262 Email: ben-05512@agate.plala.or.jp >